



PRESS RELEASE

令和6年12月26日
福島県
イームズロボティクス株式会社

ドローンによる平時及び有事における物流配送の公開実証のお知らせ

福島県とイームズロボティクス株式会社は、ロボット・ドローンの社会実装に向けたユースケースの創出事業の一環で、ロボット・ドローンの社会実装を目的として、株式会社マルト本部と五浦庭園カントリークラブ間で、ドローンによる平時及び有事（災害時・緊急時）を想定した物流配送実証を公開で行いますので、お知らせします。

取材を希望の方は、以下により申込みをお願いします。

1 実証の背景

本実証は地域密着の考えと高い防災意識を持つ株式会社マルトの協力のもと、マルトグループの現状の配送業務をドローンに置き換えた場合のオペレーションフローを検証する「平時配送」及び、災害時・緊急時におけるドローン配送を検証する「有事配送」について実証を行います。有事配送では、イームズロボティクス株式会社が能登半島地震の救援活動に従事する中で必要性を痛感した「今この瞬間被災者が必要なものを届ける」ため、ドローンを活用した命を支える救援活動を実証します。

県ではロボット・ドローンの社会実装を推進するため、ロボット・ドローンの社会実装に向けたユースケース（活用事例）の創出事業を新たに立ち上げ、公募の結果、イームズロボティクス株式会社が当該事業の委託先として採択されました。中山間地域における物流配送及び有事での活用を目指し、両者協力し取組を進めてまいります。

2 実証実験概要

- (1) 時期 令和7年1月14日（火）11:00～16:00
- (2) 場所 株式会社マルト本部、五浦庭園カントリークラブ
- (3) 実施主体 福島県次世代産業課、イームズロボティクス株式会社※
※ 本実証は株式会社マルトの協力のもと実施いたします。
- (4) 実証内容 株式会社マルトの商品を、株式会社マルト本部から五浦庭園カントリークラブまで自動飛行のドローンで配送する実証実験を行います。平時と有事は以下のシナリオで実施いたします。
平時：マルトグループは電話やネットで受注した商品を車両配送しています。この配送をドローンに置き換えた場合のオペレーションフローを検証します。
有事：大規模災害により分断された地域に取り残された被災者が発生したことを想定し、衛星電話をドローン配送した後、被災者との直接通話により必要物

資を確認したうえで、その物資をドローン配送します。

(5) 集合場所 株式会社マルト本部

福島県いわき市勿来町窪田十条3番1

- ◆ 取材時の動線や実証内容の詳細は参加申込みをされた方に個別に、資料にてご案内します。
- ◆ 強風時や降雨時には実証が行えない場合があります。その場合は、参加申込みをされた方に、県から中止の連絡をします。

3 使用機体について

通常配送用機体： UAV-E6150MP

No	項目	スペック
1	寸法	軸間(1501mm)×全高(754mm)
2	飛行制御	・飛行計画による自動飛行 ・プロポによるマニュアル飛行
3	飛行時間 [※]	約17分
4	最高飛行速度 [※]	約80km/h(約22m/s)
5	飛行高度 [※]	約4000m
6	耐風性能	風速10m/s
7	最大ペイロード	5kg
8	積載可能寸法	縦260mm×横350mm×高さ190mm
9	安全機能	・バッテリー残量基準値以下による緊急帰還 ・プロポ通信断等による自動帰還 ・GeoFence機能による経路逸脱防止 (自律飛行時は強制帰還に移行)



イームズロボティクス製

UAV-E6150MP

※上記は目安で、搭載条件、気象条件、飛行速度、飛行高度などにより異なる場合がある。

4 取材について

取材を希望する場合は、1月10日(金) 17:00までに次の事項を記載の上、以下の連絡先にメールにてご連絡ください。

- (1) 社名
- (2) 氏名
- (3) 当日連絡先

連絡先：福島県 商工労働部 次世代産業課

メールアドレス：next-generation@pref.fukushima.lg.jp

5 お問い合わせ先

福島県

商工労働部次世代産業課 主幹兼副課長 山岸広輔

電話：024-521-8045 (内線2957)